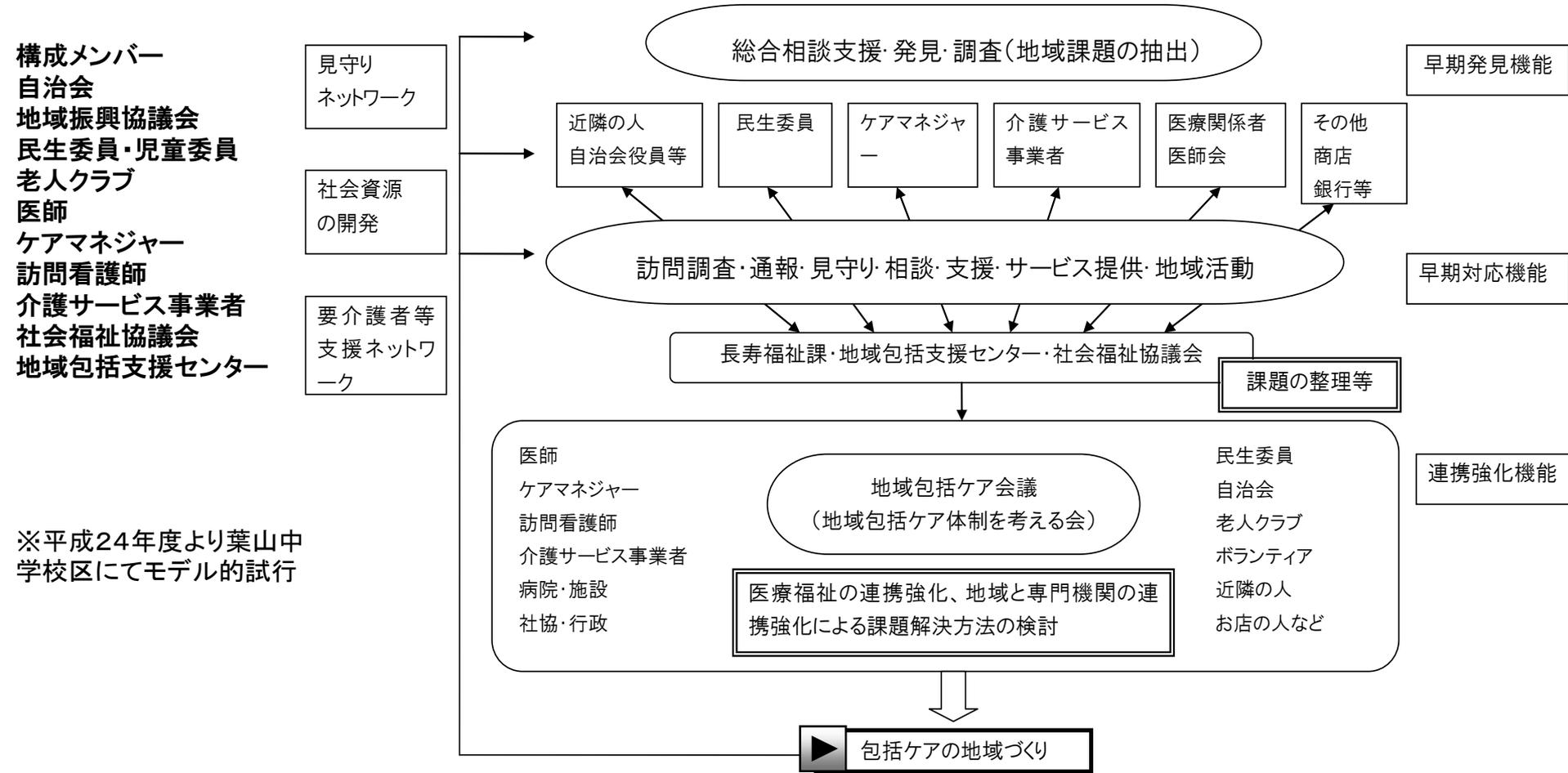




葉山中学校区の地域包括ケア体制を考える会(栗東市)

- 地域の高齢者を支える活動をしている関係者と、地域の医療、介護、福祉に携わる関係者が一堂に会し、地域の高齢者の現状を知るとともに、課題や解決方法について事例の検討や話し合いを行う。
- 草津栗東医師会と栗東市地域包括支援センターの共催。

地域包括ケアにおける地域包括ケア体制を考える会の位置づけ





地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

| | | |
|--|--|------------------------------|
| ① 区町村名 | 栗東市 | |
| ② 人口（※1） | 66,428 人 | 14,782 人 (65 歳以上 2,913 人) |
| ③ 高齢化率（※1） <small>（65 歳以上、75 歳以上それぞれについて記載）</small> | 15.86% | 19.8% |
| ① 取組の概要 | 地域の高齢者を支える活動をしている関係者と、地域の医療、介護、福祉に携わる関係者が一堂に会し、地域の高齢者の現状を知るとともに課題や解決方法について話し合いを行うもの。 | |
| ⑤ 取組の特徴 | 高齢者に関わる組織の代表者が集まる。 | |
| ⑥ 開始年度 | 平成 24 年度 | |
| ⑦ 取組のこれまでの経緯 | 高齢者への支援のための意見交換の場を持ち、地域住民と医療・介護・福祉サービス関係者の顔が見える関係づくりを進めようと、医師会と協働で呼びかけを行った。会議では意見交換や事例検討を通し参加者それぞれの役割や取り組みの理解を深めている。 | |
| ⑧ 主な利用者と人数 | | |
| ⑨ 取組の実施主体及び関連する団体・組織 | 実施主体 草津栗東医師会、栗東市地域包括支援センター 構成メンバー 地域：自治会、地域振興協議会、老人クラブ、民生委員自動委員等 医師会：医師会代表、地域の開業医 介護事業者：事業者代表、ケアマネジャー、訪問看護師 行政等：長寿福祉課（地域包括支援センター）、社会福祉協議会 | |
| ⑩ 市区町村の関与（支援等）（※2） | | |
| ⑪ 国・都道府県の関与（支援等）（※3） | | |
| ⑫ 取組の課題 | 一つの中学校区で始めた取り組みであり、今後は地域包括支援センターが主体となり、様々な機関と連携しながら市全域に広げていく必要がある。 | |
| ⑬ 今後の取組予定 | 前年度と同程度開催予定 | |
| ⑭ その他 | | |
| ⑮ 担当部署及び連絡先 | 栗東市役所長寿福祉課地域包括支援センター 077-551-0285 | |

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。

※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。





葉山中学校区の地域包括ケア体制を考える会議

目的

地域住民によるボランティア活動や見守り活動と、地域の医療や介護・福祉サービスの関係者のネットワークを構築し、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを推進する。

実施主体

草津栗東医師会と栗東市地域包括支援センター共催

事業内容

地域の高齢者を支える活動をしている関係者と、地域の医療、介護、福祉に携わる関係者が一堂に会し、地域の高齢者の現状を知るとともに、課題や解決方法について話し合いを行う。当面は、お互いが顔見知りになり、地域やくらしの課題を遠慮なく話し合える関係性を構築し、地域の現状や課題を共有することからはじめる。

構成メンバー

- ①地域：自治会、地域振興協議会、老人クラブ、民生委員児童委員等
- ②医師会：医師会代表、地域の開業医
- ③介護事業者：事業者代表、ケアマネジャー、訪問看護師等
- ④行政等：長寿福祉課（地域包括支援センター）、社会福祉協議会
- ⑤その他：歯科医師会、薬剤師会、ボランティア等

当面は①②③④で構成

場所

学区のコミュニティセンター

回数

年2回程度

